

研究課題名「総分枝鎖アミノ酸/チロシンモル比（BTR）を用いた肝細胞癌切除術後再発予測の検討」に関する情報公開

1. 研究の対象

2013年1月1日～2018年12月31日までに当院で肝切除術を受けられた方。

2. 研究目的・方法・研究期間

肝細胞癌は外科的切除後もしばしば多中心性再発する癌であり、治療方針を計画する上で、早期再発しやすい症例の選別が必要である。易再発性については、発生母地である障害肝の影響が大きい。癌再発に関わる因子として、背景肝のアミノ酸代謝を示す指標であるBTRに注目した。

2013年1月1日～2018年12月31日の間、当院にて肝細胞癌で肝切除術を施行した症例のうち、術前BTRを測定した58例について、再発に関わる予後データを回収し、相関を検討する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：

年齢、性別、病歴、肝疾患治療歴、手術日、手術前後の血液検査結果、腹部CT画像 等

試料：

なし

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒466-8550

名古屋市昭和区鶴舞町 65

名古屋大学大学院医学系研究科

消化器外科学

TEL：052-744-2245

FAX：052-744-2252

研究分担者：

名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科学・助教・林 真路

研究責任者：

名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科学・教授・小寺泰弘